

No.32

令和8年6月

防府市文化協会だより

防府市文化協会

防府市役所本館5階（文化振興課内）

TEL 0835-26-6841

FAX 0835-23-4300

令和7年度 総会並びに 表彰式

令和7年6月29日（日）13:00～
防府市役所8階防府市文化センター



岡本会長あいさつ



防府市長池田豊様よりご祝辞



ふるさとコール合唱披露



総会議事の様子

令和七年六月二十九日（日）十三時から、令和七年一月に開庁した新庁舎の防府市役所八階防府市文化センターにて、初めて総会並びに表彰式を開催しました。池田豊防府市長様、江山稔教育長様、防府商工会議所専務理事松田和彦様、防府市文化振興財団会長上野清様をお招きし、はじめに、祝儀舞やふるさとコールによる素晴らしい歌声が披露された後、岡本会長の挨拶、池田防府市長様よりご祝辞を賜り、無事終了。最後に、華浦音頭が披露され、盛会のうち終了しました。

防府市文化協会 会長就任にあたって

防府市文化協会
会長 山田 史生



本年度四月一日付にて、

防府市文化協会会長に就任

致しました、山田でございます。

前任の岡本会長様に依る長年に亘る誠実なるご活動に対し、深く敬意を表したいと思います。ありがとうございます。

戦後、経済高度成長時期と共に、全国的に文化芸術活動も盛況に動いておりましたが、十数年前から厳しい活動を迫られ、大きな節目の時期を向かえております。

若い世代への文化芸術カリキュラムの縮小や、人口減少、定年時期延長等、我々の文化芸術活動にとつての逆風が続いております。

幸い、防府市の池田市長様に依る文化芸術活動への温かいご理解、ご支援に恵まれ、市民ギャラリー等、様々な対策に依り、何とか前向きな活動を進める事が出来ております。是非とも、会員の皆様の温かいご理解、応援を宜しくお願いします。

令和六年度 市民文芸表彰者

◎ 川柳の部

○ 年度賞

鈴屋 藤井 節子	佐波 磯部 佳子	自由ヶ丘 戸田 柊子	富海 重宗 隆治	迫戸町 寺畑 末雄
----------	----------	------------	----------	-----------

◎ 俳句の部

○ 年度賞

田島 金内 憲一	華園町 森田 今子	台道 河野 怜子	国衙 山村さだ子	自由ヶ丘 山本 隆子
----------	-----------	----------	----------	------------

◎ 短歌の部

○ 年度賞

江泊 山口 正子	大道 川本 禮子	自力町 河野美津子	石が口 松永美千代	奈美 河野 敬子
----------	----------	-----------	-----------	----------

◎ 自由律俳句

○ 年度賞

天神 賤間由美子	伊佐江 田中 律子	田島 吉野 俊夫	岸津 岡村 裕司	江泊 権代 祥一
----------	-----------	----------	----------	----------

心豊かに過ごせた九年間に感謝し

当会の益々の前進・発展を祈念します

岡本 早智子

平成九年春に教職を定年退職した私は、その後十二年間は、山口県の生涯学習推進の仕事で山口県生涯教育センターへ（六年間）、そして山口県立大学へ（六年間）、毎日、通いましたので、防府市内に落ち着いた時には、七十二歳になっていました。

この時には、「もう、防府には、あまり知った人も居ないだろうし…」と、少々内気になっていましたが、それは、とんだ思い違いで、防府高校在職中の教え子の皆さんは、立派になって、活躍していて、また、同じ頃にお世話になった先生方や保護者の方々も、お元気で…そんな中で、私も、しょぼんとせずに元気で「防府野村望東尼会」の会長を務めながら、平成二十九年から、当協会の会長を勤めさせて頂き、最高の八十歳代を過ごさせて頂きました。

途中、「新型コロナ」で大変な時期もありましたが、流石ですね。この間には、各団体で工夫して活動に取り組み、何時の間にか、活動を前進させておられた…、こんな当会の会員の皆様の御姿に接して、「これなら行ける！防府市を真の「歴史と文化のまち」として、必ず、発展させることが出来る」と、私は、心底からうなづき、大変嬉しい気持ちになりました。

どうぞ、皆様には、生涯現役で、楽しくお過ごし下さい。私もそうしたいと考えています。

防府市美術展の今後について

防府市美術連盟

会長 山田 史生

防府市美術展の実施運営方法に關しましては、数年前より、諸対策を実施致して参りました。その結果、懸案の出品数が回復し、作品内容もレベルアップしつつあるように思えますが、出品者世代の会社定年の延長や活動主体であるベテラン会員さんのリタイアが続いており、先が見えない状況で苦慮しております。

今、前年踏襲ではなく、又、ボランティア活動に頼らず、新しい考え方、運営方法を模索、実行する時期にさしかかっていると考えております。

〈隣国、韓国の文化芸術部門に対する施策、運営が参考になります〉

本年は昨年に引き続き、市内外にかかわらず、素晴らしい作品を制作される作家作品の招待展示や、出品数制限撤廃や、高校生へのアプローチ等、今以上に、様々な対策にチャレンジしたいと思います。



令和七年度 防府市文化振興奨励賞(個人の部)

生活文化(華道)

渡辺 恵津子

華道家元池坊の引立教授者として永年活動している。
平成16年～22年伝統文化こども教室での指導、平成15年～30年阿弥陀寺において花供養あじさい会の会員として、山口短大の学生、誠英高校の生徒、牟礼幼稚園・保育園の園児の指導を行い、市の観光行事である「あじさい祭り」を盛り上げた。

また、小学校のいけばなクラブの指導員として、平成16年～新田小学校、平成23年～29年勝間小学校、令和2年～牟礼小学校、令和4年～右田小学校で華道指導にあたっている。

防府市文化協会主催である「防府市民文化祭 華道展」の池坊のまとめ役として任務している。

推薦団体…華道家元池坊防府支部

美術(写真)

坂井 譲

1967年頃から素朴な自然風景を中心に約57年撮影し続けている。

一般社団法人二科会写真部山口支部に入会して30数年経過。

受賞歴は、市美展グランプリ、山口県美術展入選、二科会写真部本展入選14回、日本光画会入賞等9回、読売新聞写真大賞年間賞3席。

2010年日韓親善協会に入会、春川市との芸術交流展に尽力されている。

2015年に防府市美術連盟に入会されてからは、出品者の拡充やPR活動、毎月1回写真愛好家に写真技術の向上などの育成活動を行い14年が経過している。また、アスピラート主催の写真展、山頭火ふるさと館の写真公募の審査及び講師もされている。

防府市美術写真部門の優秀作家であり、技術部門指導者として多くの仲間や後輩を育成されており、防府市文化協会主催である「防府市美術展」においては市美展実行委員として活躍されています。

このような功績から美術連盟をあげて推薦致します。

推薦団体…防府市美術連盟

音楽

西村 洋一

1970年代「鐘紡」「協和発酵」のマンドリンクラブを指導、また宇部短期大学のマンドリンクラブを20年以上にわたり指導。1999年より防府マンドリン・ギターアンサンブルを有志と共に創立。

その後2017年まで代表としてクラブを牽引、現在も顧問として活動が続いている。創立以来、毎年秋に開催している定期演奏会では長くコンサートマスターを務め、演奏レベルの向上に寄与した。2013年より県内の社会人及び大学のマンドリンクラブで構成する「山口県マンドリンフェスティバル」を立ち上げ、アスピラートを会場として隔年で開催している。

防府市文化協会主催である「市民音楽祭」においてはコロナ禍前の令和2年まで積極的に参加しており、「音楽の街防府」の一翼を担うまでになった防府マンドリン・ギターアンサンブルを立ち上げ、育て上げた功績により推薦いたします。

推薦団体…防府マンドリン・ギターアンサンブル

美術(書道)

金重 紅園

毎日書道展会員、毎日女流書展運営委員、九州創玄理事、書道研究玄游会参事、防府市美術連盟理事、防府市書道連盟元総務部長、誠英高等学校元非常勤講師、YIC中央学院周南校元非常勤講師、指導歴50年(茜雲書道会)。

平成14年～平成30年 茜雲会書作展(於アスピラート)、平成30年 金重紅園とその仲間たち(於秋市渡辺蒿蔵旧宅)、令和5年書展一結(於秋市明倫学舎) 平成12年第10回・平成18年第16回(日韓親善文化交流展で春川へ)、平成11年防府市美術展大賞、平成18年・23年美術連盟大賞、令和6年文化協会長賞。

半世紀の永きにわたり、地域書道文化の啓蒙・向上・発展に地道な努力を続けてその裾野は防府のみならず山陰・萩方面にも精力的に輪を広げ数多くの優れた門弟、愛好家を育てた。また「茜雲会」を主宰してアスピラートで年次15回の社中展を開催。防府書道連盟発足時には総務部長として活動を支えた。防府市民文化祭 防府市美術展において

も毎年積極的に応募されており、50年の節目にあたり今日までの「書家 金重紅園」を顧みてここに推薦させていただきます。

推薦団体…大瀧書道会

生活文化(茶道)

伊藤 正子

昭和39年山口大学入学と同時に山大茶道部に入部、以来60年余り京都裏千家にて春夏秋冬4回の研修に参加。講師、助教授を経て現在教授として活躍。

特別養護老人ホーム(やはす園)にて、10年間抹茶奉仕、防府市民文化祭参加指導、天満宮行事月次茶会の奉仕、華月会(英雲荘)月釜の茶席担当、防府高校茶道部の指導にあたっている。

学校茶道においては、生徒を積極的にお茶会に参加させ、豊富な知識(お道具も)を惜しげもなくわかりやすく教えられ、茶道の発展に尽くされています。

防府市文化協会主催である「防府市民茶会席」では、積極的に参加され会を引っ張っていただいています。

推薦団体…防府茶道連盟

歴史

土井 多恵子

平成24年頃から当会に加入し、その後、理事となられ総務部長を平成30年度から今日まで副会長として務められています。

常に当会の活動の調整と推進の役を果たし、外には当会の活動を広め、会員を増やすことに余念がなく、当会の活動への貢献度は大変高いものがあります。

当会で最も重視している望東尼の顕彰については、リーダーシップを持って熱心に取り組んでおられ、3/6/3/10市民ギャラリーにおいて特別展として「野村望東尼真筆展」を開催し、運営に大変ご尽力いただきました。

この度の受賞を強く願ひここに推薦いたします。

推薦団体…防府野村望東尼会



令和七年度 防府市文化振興大賞

(防府市文化振興奨励賞受賞後、当協会とかかわりを持ちながら活動を継続し、更に活動の発展が顕著な団体に贈る賞)

生活文化(華道)

防府市華道連盟

代表 田中 竹陽

華道連盟は現在5流派(池坊・小原流・二葉流・草月流・専正池坊)で活動されています。昭和54年度に当時の「防府の文化を高める会」から表彰を受けられました。その後今日まで、当会所属団体の中で最も組織的に整然として、次々に新しい活動へと進んでおられ、華道を通しての諸ボランティアにも積極的です。

中でも学校華道、子ども教室等に積極的に取り組まれ、この度の「中学生の部活動の地域化」に対しても、最も積極的に受け入れられる姿勢が見えます。

毎年11月の市民文化祭、市民ギャラリーでの花展。また英雲荘が改装されてから今日まで、玄関・床間を交替して飾っています。華道も無形文化財になりましたので、この様な時宜を得た活動の益々の発展に向けて、是非この度の大賞を推薦いたします。

推薦：防府市文化協会

音楽

防府音楽連盟

会長 石川 功

「音楽を自分たち自身で体験し理解しよう。そして市内の音楽グループの結束を図り、音楽活動を通じて地域文化の一助となるう。」という連盟の基本理念に基づき活動し、昭和51年度に当時の「防府の文化を高める会」から防府市文化奨励賞を受けられました。

現在も防府市文化協会主催の「市民音楽祭」文化振興財団主催の「フェスタ・アスピラート」の実行委員、実行委員長として活躍しておられます。また「二輪のさくら祭り」「天神ジャズ・ライブ」「絵画会コラボコンサート」「能章会昭和歌謡コンサート」など様々な地域行事に参加し、市内外で活動する音楽団体との輪を拡げておられます。

このような今日までの50年間の活動は、当会の基本理念を貫いて常に当団体が中核となり、市内の様々な音楽グループをつなぎ、応援し、育てて来られました。この功績は、今や他市町民から「音楽のまち防府」と呼ばれる程になって来ていることから、是非、この度の大賞にと推薦いたします。

推薦：防府市文化協会

防府市民短歌大会について

防府市民短歌会 羽仁 和子

市民短歌大会は会の一番の重要行事です。十月の第一日曜日に行われ、昨年からは市役所八階の文化センターで開催されています。

市民の短歌愛好者が、思いを五七五七七に込め応募された作品は、今年度一般の部、児童生徒の部合わせて六七二首にもなりました。大会ではご来賓をお招きし、優秀作品の表彰や作品の批評会などを行っています。その優秀作品の一部を紹介させていただきます。

一般の部

(市長賞)

初般に抱かれて届くサツマイモ

(市議会議長賞)

おばあちゃんの料理食べた、夏ハテを

児童生徒の部

(教育長賞)

真正面迫る太陽押し戻せ

(文化協会会長賞)

君のこと気付けばいつも見てしまっ

それから、二月にはアスピラート1F地形模型の部屋で二月いっぱい市民短歌大会の作品を含め市民の優秀作品の展示も行います。防府高校書道部の生徒さんの迫力ある書により更に感動を覚える展示になっているので、こちらにもぜひお越しください。

短歌に興味を持っていただく方が増えるように会員一同これからも努力してまいります。



第七十四回 防府市美術展について

防府市美術連盟 副会長 石川 近利

十二月三日(水)～七日(日)まで、防府市地域交流センターアスピラート二階展示ホールにおいて、文化協会主催の防府市美術展を開催致しました。又、同時開催として一階市民ギャラリーにおいて、防府市教育美術展、更に市民スペースにおいては、絵画教室のお子様展・国府中学校美術部OB展・キッズ展・防府市内中学校美術部作品を展示致しました。

防府市美術展に関しては、本年度も七部門より多くの力作が集まり、大変ご好評を頂きました。新しい試みとしては市内で絵画指導活動をされており、中央画壇でも活躍の三名の絵画作家の先生による招待作家展示及び、若手藝術作家の応援活動として、市内で活動されている版画作家による特別展示コーナーを設置いたしました。中央画壇で活躍されている先生方の作品も拝見させて頂いたこともあり、多くの防府市民や近隣の方々にお越し願いました。今後も防府市内ではなかなか拝見できない作品の展示や、若手作家の応援を継続したいと考えております。

今後昨年引き続き防府市美術展に關してアンケートをお願いし、多くの回答を頂きましてありがとうございます。結果は満足・ほぼ満足・と多くの方々のご支援を頂きました。しかし、まだもっと沢山の作品を観たい等のコメントを頂いており、次回の美術展に活かしていくための実現に向けて検討を進めております。

今後も防府市の芸術発信及び身近な発表の場として、更に盛り上がる運営を継続致しますので、皆様においても是非気軽な(趣味で始めた等)出品での参加及び、ご高覧としての参加を会員一同お待ちしております。

市民音楽祭の実行委員長として

防府音楽連盟

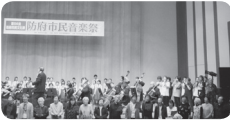
市民音楽祭実行委員長 石川 功

平成二十八年（二〇一六年）六月二十五日に防府音楽連盟の会長に任命された後、「音楽を自分たち自身で体験し理解しよう。そして、市内の音楽グループの結束を図り、音楽活動を通じて地域文化の一助となる。」という連盟の基本理念に基づき、前連盟会長に引き続き、防府市民音楽祭の実行委員長として企画・進行に携わってまいりました。

市民音楽祭実行委員会では、各実行委員の長年の演奏活動経験に基づき、多種多様な演奏形態の各出演音楽団体が、本番で日頃の練習成果を心置きなく観客の皆さんに披露できますよう、文化協会と伴に企画・運営など時代に沿った創意工夫、協議を行い、昨年度も音楽祭でのスムーズな開催進行、発展に努めることができました。昨年度は観客数も例年になく増えたようですが、それは出演者が演奏の合間に観客となつて他の音楽団体の演奏を鑑賞した人数が増えたものではなかつたかと思ひます。しかし、これは決して悪いことではなく、実行委員会の望む理想の姿、市民音楽祭が単なる防府市民に向けての音楽発表の場だけではなく、会員団体相互、他形態音楽ジャンルの演奏団体との交流や連携の場となつてきたと言えるのではないのでしょうか。

また、各団体の代表者には他出演団体の舞台セッティングのお手伝いや、他団体の演奏を鑑賞する場、出演団体相互の交流の場を設け、特に、同じく実行委員会での発案により、今では恒例となりました市民音楽祭のアンコール・ステージとも言える合同演奏は、客席の皆さんをも巻き込んで会場全体が一つになれる、他の発表会には見られない素晴らしいプログラムであると自負しております。

実行委員長としては、時間に制限は有るものの、新規出演希望団体をできる限り迎え入れ、参加された全ての皆さんが楽しめ、記憶に残る音楽祭、音楽活動の発展にこれからも努めてまいりたいと考えておりますので、文化協会や会員の皆様には今後とも引き続きのご協力・ご理解をお願いいたします。



第五十六回『邦楽の会』を終えて

防府邦楽舞踊連盟 小林 範山

令和七年十一月二日第五十六回邦楽の会を開催しました。防府邦楽舞踊連盟十六の加盟団体（尺八二、詩吟三、箏曲二、能楽一、舞踊六、民謡二）から今年度は能楽を除く十五団体の出演により三友サルビアホールにおきまして関係各位をはじめ傘下団体、会員の皆様方のご協力をいただき盛会裏のうちに終了することが出来ました。これもひとえに会員の皆様方が芸道の向上に向け日々研鑽された結果の賜と感謝申し上げます。

ご承知のように邦楽舞踊は、古来より日本人の生活の中で生まれ育った日本民族固有の芸術です。各団体は、会員の減少や益々複雑・多様化する厳しい社会環境の中、諸先輩の皆様から受け継がれてきた、その優雅にして洗練された格調高い芸を保持し次世代に継承するために日夜奮闘しております。来場いただきました皆様には心よりお礼申し上げますとともに、お客様に足を運んで頂くことが出演者のモチベーションとなります。今後とも邦楽舞踊連盟への温かいご支援をお願い申し上げます。

令和八年十一月八日（日）第五十七回邦楽の会を三友サルビアホールにて開催いたします。各団体には大会に向け皆様方に喜んでご来場いただけるようなプログラムを検討中です。多くの方々にご来場いただけますことを熱望します。



「心の故郷」

洋舞の会会長

スペイン舞踊家 谷 淑江

昨年の洋舞フェスティバルは六団体での開催にも関わらず盛況に終えることができました。心からお礼申し上げます。

デジタルエンタメが普及し続ける昨今、私共の活動をどのように広めていくべきか模索する日々ですが、全出演者の情熱と成長が肌で感じられ、岡本元会長がおっしゃる「文化の薫る防府市」を目指し、この芸術活動を続けていくことの大切さをあらためて噛み締めました。

この春、長年の同志イズミバレエさんが退会され寂しい限りですが、実績豊富でコンテンポラリーダンスにも力を入れているアヤバレエクラシックさんの仲間入りが喜ばしく、新風が吹く期待に胸が膨らみます。

私自身は先日四月五日防府音楽祭のオーケストラとフランメンコの共演でフィナーレにラヴェルのボレロを全編ソロで踊る素晴らしい機会に恵まれました。六月はスペインへ、七月はサントリールホールなど都内数カ所で開催の東京フィルのオペラカルメンの公演が控えています。そして秋には、子供時代から続く大切なイベント、「心の故郷」と言っても過言ではない洋舞フェスティバルの開催がまたやってきます。今年は十月十八日、初の試みで出演者合同フィナーレをみんな大好きジブリの曲で計画中です。

市制九十周年に華を添えられるよう邁進してまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。



第二十八回ビデオ作品上映会のお礼

防府映像サークル 会長 清澄 邦夫

二〇二五年十一月九日第二十八回目の映像サークル作品上映会を、デザインプラザ防府(防府市創業・交流センター)で開催し十二本の作品を上映しました。

会場は、ビデオ作品の上映会にふさわしい環境と設備が整って、居心地の良い観客席で私たちの作品を上映することができました。メンバー一同大満足でした。

当日は、文化協会副会長の小林範山様にお越しいただき、ご挨拶の後上映会を開催しました。小林副会長様、誠にありがとうございました。そして、一〇〇人を超えるお客様に、十二本の作品を楽しんで頂きました。

上映会を開くにあたり、毎年、文化協会のご協力を心から感謝しております。

「スマホの進化」

最近では、AI技術がどんどん進んでおり、ビデオに関しては、撮影した静止画や動画を、そのままスマホでタイトル・音楽・ナレーションを入れて作品がカンタンにできるようになりました。しかも無料でかなりのところまでできます。私どものサークルでも、スマホによる編集の勉強会を行っています。

家族を記録したビデオのことをホームムービーと言います。

家族のしあわせの時は、私なりに考えて思い出に花を咲かせる時だと思えます。

しかし「思い出」も、記憶にあるものは薄れていきます。

私の場合、自分なりに「記録が記憶を呼び起こす」と言う考え方で、家族と共に過ごした大切な時間を纏めて、時折「思い出」に花を咲かせています。

「今年の計画」

今年もスマホによる勉強会を開く予定です。一般の方の参加も歓迎しております。

第二十九回の作品発表会は十一月八日に、デザインプラザ防府で行う計画であります。

皆様のご来場を、メンバー一同お待ちしております。



「今後の華道展について」

防府市華道連盟 代表 原 翠旭

今年度、華道連盟草月流として、代表になり、今まで華道である草月流に携わって来ました。昔から日本の伝統芸術、華道、茶道数々ありますが、少しずつ生徒数も減り魅力がないのかなあと常々思っていました。

また、毎年文化祭を開催するにあたり、見て下さる人も減っていき、これではいけない皆で考えようと思うようになりました。

それぞれのやり方で良い、どんな小さな事でも良い、私達自身の華道(各流で)を、表現していけば良いのではと、私は思っています。変わる年ではないでしょうか?皆で刺激を受け成長できればと思っています。

私がイメージする今年の防府市民文化祭華道展は、魅力的な、いけばなをより多くの人に見てもらうためには、皆さん(各流派)のそれぞれの思いがひとつになり豊かで多彩な楽しさを伝えることが大事だと思います。

草月流は、原点である「花は、いけたら人になる」すなわち「花は心」

その思いを草月流は一〇〇周年を迎えるにあたり、ひとりひとりが心をいけばなによって表現し魅力的な形となり感じてもらえればと思います。



「防府盆栽会の活動について」

防府盆栽会 会長 今井 豊

私たち防府盆栽会は、大道盆栽会から改名後三年を経ようとしています。

大道公民館を拠点として、毎月一回実施している定期的な講習会と、春と秋に行う展示販売会が、活動の主体です。

会員の高齢化と減少は避けて通れないと思っていましたが、若い会員が行う積極的な勧誘や、インスタグラム等SNSによる発信の効果なのか、現役世代の人の入会が複数あります。講習会参加への問い合わせ等も増え、『SNS見ました』と女性二名での講習会参加等もあり、環境の変化を強く感じています。顕著な例として、今年中学一年生の入会者がいます。一気に会の平均年齢が低下し、その効果は計り知れません。本場埼玉県川口市の『川口盆栽村』との協力体制も整い、会の運営に多大な効果をもたらしています。

活動としては、第五十六回防府市民文化祭「盆栽展」を昨年十一月十五日、十六日両日、三友サルビアホールホワイエにおいて開催しました。両日もたくさんの方のご来場を得て、成功裏に終えることができました。

今年は、四月十八日、十九日両日、大道公民館で防府盆栽会春季展示会を開催し、多くの方々のご来場を得、特筆すべきは、文化協会会長の来場もいただき、無事終了いたしました。文化協会様には、細部にわたり多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

PS. 防府盆栽会では、新規会員を募集しています。初心者大歓迎で、親切、丁寧をモットーに対応させていただきます。

連絡先は

防府盆栽会事務局 藤田 年
090-18605-4860
よろしくお願いたします。



「第五十六回防府市民文化祭

お茶席について」

防府茶道連盟 町田 恵子

今年も文化祭お茶会が令和七年十一月十五日（土）、十一月十六日（日）の二日間に行われました。

一日目表流、二日目裏千家の担当でした。

コロナの影響も少し薄れ、二日間共当日券がかなり出ました。もちろん裏方ではコロナ感染対策に注意をしておりました。

お抹茶がおいしかったと多くの方に言われ疲れも和らぎました。秋のひととき穏やかな時を少しでも過ごしていただけたかと思えます。

物価高の折、このお茶会が今後長く続けばいいなと思っております。

防府市文化協会の皆様のご協力を感謝致します。有難うございました。



交流の広がった市民文化祭

西浦焼愛好会 藤田 隆

令和七年の市民文化祭に西浦焼愛好会を参加させていただきました。ありがとうございます。西浦焼愛好会は西浦公民館のサークルとして結成十年、地元のみならず、西浦焼の歴史と作品を後世に伝えようという大きな目標を掲げて展示会、説明会等を開催してきました。しかし市民の皆さんに十分認識して頂けず何か良い方法はないだろうかと思案していたところ、市民文化祭への参加をご提示いただき会員一同大喜びしました。しかも会場がアスピラート一階の市民スペースと好立地でこれは期待できるぞと開催を心待ちにしておりました。

市民文化祭当日、西浦焼二十五点と歴史説明パネルを展示させて頂きました。期待どおりに二日間で三〇〇名余りの方にパンフレットをお渡しして説明することができました。特に嬉しかったのは華道展、茶会も同時に開催されていたので西浦焼きをご存じの方が多く、なかには菓子鉢として使用されている方もいらつしやり、そのお話を聞いて興奮が止まりませんでした。

西浦焼は江戸時代の終わりと、昭和七年迄の八十年間、西浦で作陶されたもので特に赤絵と呼ばれる鮮やかな赤色の焼き物が有名です。この一〇〇年以前の焼き物が現代もなお皆さんに楽しんで頂いていると思うと、私たちが作陶したのではないのに自分たちの赤絵鉢であるような感覚になり涙が出そうでした。

このように地元で愛されている西浦焼をさらに多くの方々に知っていただけたよう改めて会員一同決意致しました。これからも様々な場で西浦焼の歴史と作品を広めていこうと思っております。引き続きご協力をよろしくお願い致します。



「アトリエ陽だまり」

アトリエ陽だまり 代表 寿浦 淳子

水彩画の作品展を年一回アスピラート一階市民ギャラリーで、開催させて頂いております。絵を展示する時、ローリングタワーを使っていますが、高齢者には大変な労力であり、高いところのフックに吊るすのは極めて危険です。市民ギャラリーでは机が二十あり、昨年からはテーブルの上にインテリアイゼルを置いて展示しました。この方法は簡単であり、安全で、見栄えも良く、好評でした。今後は、この展示方法にしようと思っております。皆さんも、ぜひ、真似てみられてはいかがでしょうか。

今後の活動として、本団体は水彩画教室「アトリエ陽だまり・防府教室」、講師は寺田晴美、教室は華浦公民館で月二回（第一・第三土曜日午後二時から四時までの二時間）行われているサークル（会員は十三人）です。現在、会員を募集しております。

講師の寺田晴美先生は山口市在住のプロの画家で、男性です。名前が晴美なのでよく女性と間違われますが、女性のような優しい花や風景画が主体です。山口県内に六教室もあり、生徒は約二百人もおられます。大変やさしい指導で人気の先生です。

ぜひ、いちど華浦公民館に見学に来てみてください。大歓迎します。

（連絡先 ☎ 24-9369 寿浦まで）

団体会員

- 令和七年度
個人会員

個人会員

- 8 —

令和八年度事業計画

六月二十七日（土）十三時
令和八年度第二十八回防府市文化協会総会・表彰式
防府市役所本館八階防府市文化センター
七月十八日（土）
第二十回 防府市民自由律俳句大会
防府市役所本館八階防府市文化センター
十月四日（日）
防府市民短歌大会
防府市役所本館八階防府市文化センター
十月十八日（日）
第四十七回 市民川柳大会
十月十八日（日）
第五十七回 市民文化祭
第三十五回 洋舞フェスティバル
三友サルビアホール（防府市公会堂）
十月二十五日（日）
第五十七回 市民文化祭 市民音楽祭
笑顔満開通りアスビラート三階音楽ホール
十一月八日（日）
第五十七回 市民文化祭 邦楽の会
三友サルビアホール（防府市公会堂）
十一月八日（日）
十三時三十分～十六時
第五十七回 市民文化祭
第二十九回 ビデオ作品上映会
防府市創業・交流センター
（デザインプラザHOFU二階）
十一月十四日（土）～十五日（日）
第五十七回 市民文化祭 盆栽展
三友サルビアホールホワイエ
十一月十四日（土）～十五日（日）
第五十七回 市民文化祭 華道展
笑顔満開通りアスビラート二階展示ホール
十一月十四日（土）～十五日（日）
第五十七回 市民文化祭 市民茶席会
笑顔満開通りアスビラート一階ハーサル室横
十一月十四日（土）～十五日（日）
第五十七回 市民文化祭
「まちの保健室による健康相談」
笑顔満開通りアスビラート二階ハーサル室横
十一月十四日（土）～十五日（日）
第五十七回 市民文化祭第三回「陶芸展」
笑顔満開通りアスビラート一階市民スペース
十二月二日（水）～六日（日）
第五十七回 市民文化祭
第七十五回 市美術展
笑顔満開通りアスビラート二階展示ホール
一階市民ギャラリー 一階市民スペース

令和八年度 防府市文化協会役員

○＝常任理事

役員	氏名	選出母体
顧問	岡田 利雄	個人
顧問	岡本早智子	防府野村望東尼会
（新）会長	山田 史生	防府市美術連盟
副会長	小林 範山	防府邦楽舞踊連盟
（新）副会長	藤田 年	防府盆栽連合会
監事	清澄 邦夫	防府映像サークル
（新）監事	佐藤 正勝	勝間ギターアンサンブル
○ 常任理事	理事	選出母体
○	中村 正規	防府市民短歌会
○	山田 梓江	防府市美術連盟
	河村 澄心	大濤書道会
	堀江 新子	藍と愛の会
○	石川 功	防府音楽連盟
	河野 隆文	防府市民合唱団
○	若柳吉冬貴	吉冬貴の会
	永田 菅堂	上田流尺八管友会

○ 常任理事	理事	選出母体
	花柳扇千鶴	千鶴の会
	谷 淑江	スペイン舞踊ダンサルテ
（新）	周田 香	カパークカウイオクウプアレフ
（新）○	原 翠旭	防府市華道連盟
	三吉やよい	防府茶道連盟
○	青木 明夫	防府民俗芸能連盟
交替○	桑木 正道	日本郵趣協会防府支部
○	桑原 一朗	個人
	藤井 和敏	小学校長会
○	徳永 竜治	中学校長会
○	深田 慎治	支援事業部
	鈴木 宏明	防府天満宮
（新）	太田 裕生	防府青年会議所
○	森江 崇文	文化スポーツ観光交流部文化振興課長
（新）	河村紀代美	（公財）防府市文化振興財団地域交流センター館長

事務局 岡崎久美子

文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

《年会費》

団体会員（第一号会員）
三千円
個人会員（第二号会員）
千五百円

《会員の特典》

*個人会員
① 年一回の主催事業への無料招待及び割引招待

*団体会員
① 加入団体の各種行事に対する文化協会の共催・後援

② ルルサス文化センター！公民館の施設月一回連続する5時間まで無料利用

③ 会員であればアスビラート1F市民ギャラリーが無料で使用できます。

ただし、電気代等実費利用分は有料となりますので、申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》
「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿（氏名のみ）を必ず添付してください。

《期 限》
年度の4/1～翌3/31までの一年間（年度ごと更新）

《問合せ》
防府市文化協会事務局
（防府市役所本館五階文化振興課内）
TEL：〇八三五―二六八四（一）
FAX：〇八三五―三三三三（一）

※申込書は、市文化振興課のホームページからダウンロードできます。

編集

委員長 山田 史生
委員 石川 雅子
三吉やよい
藤田 年
岡崎久美子

発行

千七百七十八五〇一
防府市寿町七番一号
防府市役所 本館五階
文化振興課内

TEL 〇八三五（二六）六八四一
FAX 〇八三五（二三）四三〇〇

メールアドレス
hofubunko@stara.ocn.ne.jp

令和八年六月

編集後記

皆様お忙しい中、寄稿のお願いを快よくお引き受けくださり、ありがとうございました。

各文化団体のお力添えにより、令和八年度を無事迎えることができました。本年度もどうぞよろしくお願います。



「文化の薫るまちを共にめざして」

防府市文化協会 事務局長 岡崎 久美子

令和八年度は、防府市文化協会は、お陰様で創立二十八周年を迎えました。毎年開催される五十七回を迎える防府市民文化祭においても、文芸大会や美術展・邦楽の会・洋舞フェスティバル・市民音楽祭・華展・お茶席・盆栽・映像等の発表展示を開催。本年度は活動発表に何かプラスした内容を実施しようと、華展開催中に「音楽演奏」や洋舞フェスでは「各出演団体でフィナーレにジブリ曲でダンスを披露」。邦楽の会では、「日本舞踊と箏・尺八との共演」等、各実行委員会検討されており楽しみな限りです。また、四年を迎えた市民ギャラリーの活動も順調に活動の幅を広げ、防府市制施行九十周年記念として、特別展等を計画しているところでございます。

このように、会員の皆様の文化芸術に対する熱意とお力添えによって、当協会は、一層心強く前進するエネルギーを頂戴し、その業務に携わらせていただいていることに心から感謝申し上げます。

また、九年間、前へと牽引くださいました岡本会長から山田会長へと交代し、今まで培われた文化芸術活動を、さらに広げ高められるよう会員皆さまのご協力を賜わりながら、今後ますます当協会が前進して行くことができるようどうぞよろしくお願い申し上げます。

防府市制施行九十周年記念市民ギャラリー特別企画展

一 第一弾

7.5h2 カマト展に二〇二六実行委員会による「カマト展」(二〇二六)
展示期間：二〇二六年八月一日(土)～八月十六日(日) 十時～十六時 火曜日休館 但し、八月十二日(火祝)は開館し、十二日(水)休館
おさかなの絵をテーマにした作品をかまぼこ板に描いたものを小中学生対象に公募。
公募期間：令和八年三月一日～七月一日。
出品料：無料

応募方法：左記メールにてエントリー。氏名・年齢・学校名・連絡先・作品タイトルを明記。エントリーされた方には、かまぼこ板を在学の小中学校に支給します。

応募先メールアドレス：nanahanz75@gmail.com
完成作品は、学校まで取り参ります。

各賞：小中学校の部各共に、金賞・銀賞・銅賞各一点、審査員特別賞若干(各賞状・副賞)
※夏休みアートスクール開催。
開催日：二〇二六年八月九日(日)～十日(月)

※とは、幼児語等でさかなを意味する。

二 第二弾

二〇二六年 天使の旅…中村徳男の世界展
九月二十三日(水祝)～十月四日(日)まで
九月二十四日(木)、九月二十九日(火)休館
防府市出身で資生堂のデザイナーを経て、現在は大学・大学院にて教鞭を執る。ご自身の絵画の展示やワークショップにて、自分の生き様を通して、夢を持ち続けることの大切さを講話します。

●九月二十六日(土) ギャラリートーク
会場：アスピラート一階市民ギャラリー
〈第一部〉十時～十一時三十分 作品鑑賞の解説等
〈第二部〉十四時～十五時三十分 スライドトーク
テーマ：「夢をかけて描く」中村徳男の世界

三 第三弾

二〇二六年 檜垣良之風景木版画展
十月八日(木)～十月十八日(日) 十三日休館
先着順にポストカード等進呈
会期時間：十時～十六時 ワークショップ(蛙の三色刷)作家滞在中のみ：十月十日(土)～十二日(月・祝) 十月十七日(土)～十八日(日)
材料費五〇〇円

防府市在住の木版画作家。防府市内の歴史ある建物、例えば防府天満宮や毛利邸・阿弥陀寺国分寺ほか防府の町並みや景色等を版画で表現している。

「野島乗船券の贈呈式」

ナナハンヘルツ 永田 好人

二〇二四年にアートアイランド茜ビエンナレを開催し、野島の猫をテーマとした作品を募集いたしました。

世界各国から二七三点の応募があり、入賞入選五十七作品を野島小中学校に寄贈展示させていただきました。

今回二回目となるアートアイランド茜ビエンナレ二〇二六では、防府市文化協会と共催し二〇二六の応募作品があり、入賞入選五十七作品を一月に防府市アスピラート市民ギャラリーにて展示させていただきます。開催後には防府市内の企業やカフェ、美容院など五十箇所に寄贈展示させていただいております。なかでも柏村文路さんの作品が野島海運様に寄贈されレインボー茜の船内に展示させていただきますました。さらに乗船券のデザインに同作品が掲載され、三田尻港にて贈呈式を開催いただきます心より感謝申し上げます。

また、金猫賞と銅猫賞が掲載された防府市制施行九十周年記念カレンダーの作成など二年後のアートアイランド茜ビエンナレ二〇二八に向け大きな布石となりました。

今後も文化芸術の振興と育成をコンセプトに、いきいきとした野島の未来を創造していければと思います。

